

## オプトアウトについて

論文名：”Social anxiety of adults who stutter: qualitative difference from that of people with primary social anxiety and other anxiety disorders” (吃音のある成人の社交不安：プライマリーの社交不安症、及びその他の不安症のある人との質的な差異)

研究対象期間：平成 23 年 8 月～平成 29 年 12 月

研究費：国立障害者リハビリテーションセンター運営費

### ① 情報の利用目的および利用方法

吃音のある 18 歳以上の方の社交不安の特徴や質問紙の使用方法について明らかにすることを目的とします。診療録の情報を匿名化加工し、そのデータを統計的に処理しますので、個人が特定される可能性はありません。

### ② 利用または提供する情報の項目

平成 23 年 8 月～平成 29 年 12 月の間に当院の成人吃音外来の初診者の診療録から得られた、問診票と質問紙に記入されたデータ。また、その他の診断名・職業。

### ③ 情報を利用する者の範囲

国立障害者リハビリテーションセンター研究所 灰谷 知純 酒井 奈緒美

同自立支援局 森 浩一

同病院 北條 具仁

(情報は匿名化され、個人を特定できない情報として利用されます。)

### ④ 情報の管理について責任を有する者

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部 聴覚言語機能障害研究室 室長 酒井 奈緒美

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部

流動研究員 灰谷 知純

### ⑤ 情報提供の拒否について

本件に関し、受診者(未成年の場合、保護者)は「利用または提供する情報の項目」に記載した情報の研究への利用または提供を拒否することができます。なお、それにより受診者が診療等に不利益を受けることはありません。なお、当論文は 2018 年 12 月に投稿予定で、投稿日以降は情報提供拒否の申し出をいただいても、論文の対象データから削除することができない可能性があります。

### ⑥ 情報提供拒否の申し出および問い合わせ先

国立障害者リハビリテーションセンター 研究所 感覚機能系障害研究部

流動研究員 灰谷 知純

Tel: 04-2995-3100 (内線 7293)

Fax: 04-2995-3132 (代表)

Eメール: [haitani-tomosumi@rehab.go.jp](mailto:haitani-tomosumi@rehab.go.jp)

### ⑦ 個人情報の取り扱いに関する苦情の申し出先

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部

企画課長 西村陽子

〒359-8555 埼玉県所沢市並木 4-1

TEL: 04-2995-3100 (内線 2140)、FAX: 04-2995-3661

Eメール: [kikakurinri@rehab.go.jp](mailto:kikakurinri@rehab.go.jp)

本告知は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づき、研究対象者である病院受診者の方々へ通知し、公開するものです。

# 研究の概要

## 研究の背景と目的

吃音のある成人の方は、社交不安症（社交場面で強い不安を感じる精神障害）の合併が多いことが知られています。しかし、主な診断が社交不安症の方が感じる社交不安と、吃音のある方が感じる社交不安の違いについてはよくわかっていません。この研究では、Liebowitz 社交不安尺度（LSAS）と呼ばれる社交不安症の症状の評価に用いられる質問紙の回答に対して、因子分析と呼ばれる統計解析を行うことで、吃音のある成人の方の社交不安の特徴を理解することを目的としました。

## 研究の結果と意義

初診時の LSAS の回答を分析した結果、吃音のある成人の方は、主な診断が社交不安症の方とは LSAS に対する回答の傾向が異なることがわかりました。また、吃音のある成人の方では、特に発話しない場面での不安が低く、電話場面での不安が高いことがわかりました。この研究の結果は、吃音のある成人の方の社交不安の特徴は、主な診断が社交不安症の方とは異なることを示唆しており、その特徴に合わせた心理的治療を行う必要があると考えられます。